

かわせみ



市立ひらかた病院ニュース

2016
夏号
VOL. 37

〒573-1013 枚方市禁野本町 2-14-1
ホームページ <http://hirakatacity-hp.osaka.jp/>

Tel (072) 847-2821

Fax (072) 847-2825

大阪府がん診療拠点病院に指定されました

がん診療体制のさらなる向上と充実を目指します



病院長 森田 眞照

市立ひらかた病院は、平成 26 年 9 月 22 日に新病院を開院し、病院名を市立ひらかた病院と変更して新しいスタートを切りました。病院の創設は昭和 25 年で、創立 65 年を経過しております。皆様のおかげをもちまして、新病院が開院して以後、大きなトラブルもなく順調に診療が行えておりますことを感謝致します。

さて、新しく取り組みました放射線治療も順調に治療患者数が増加しております。また、シンチグラムの検査についても、今まで当院ではできなかった検査であり、患者様からも喜んでいただいております。新しく導入致しました 3 テスラの MRI も脳神経系や乳腺の診断に対して力を発揮しており、320 列のマルチスライス CT も心臓疾患などの診断に役立っております。

療養環境も病室は明るく、清潔になり、ベッド間の広さも十分確保できており、皆様に満足して頂いております。また、緩和ケア病棟は全室個室であり、ロビーも他の病棟とは違う広いスペースをとり、景色も最上階の 7 階であることから、市

内が一望できすばらしい環境です。落ちついた療養環境が保たれております。

これらのがん診療に関する医療環境が整ったことにより、今回、平成 28 年 4 月 1 日から大阪府のがん診療拠点病院の指定を受けることになりました。これまでの当院でのがん診療の評価をして頂いたものと思っております。これを契機にますますがん診療に力を入れていきたいと考えています。がんと診断された時から、身体的、精神的、スピリチュアルなサポートを病院全体として行っていける様になお一層の努力を重ねてまいります。



整形外科からのお知らせ

4月から大原整形外科主任部長が着任しました

今年の4月1日付けで小坂先生の後任で整形外科主任部長として赴任しました。大阪医大では股関節を専門に16年間専門外来をさせていただきました。

股関節外科といえば変形性股関節症の治療がメインテーマです。今まで、若年者には可能な限り股関節温存手術としての骨切り術を、壮年期から老年期の患者様には人工股関節置換術を主に行ってきました。さらに、最近注目されている股関節唇損傷の関節鏡視下手術を約10年前から取り組んでいます。股関節痛を訴える患者様でX線検査に関節症の見られない方の殆どに股関節唇損傷がみられます。原因は大きく分けて2つあります。



整形外科主任部長

大原 英嗣（おおはら ひでつぐ）



一つは皆様もご存知の寛骨臼形成不全（臼蓋形成不全）のある不安定な股関節に起こるもの、もう一つは極軽微な骨形態の異常により寛骨臼前縁と大腿骨頸部前面とが衝突（femoroacetabular impingement: FAIを含む）して生じるものがあります。

前者は単純X線検査の正面像で診断可能ですが、後者は動態撮影やCTの詳細な検査で初めて診断できるものが少なくありません。また、FAIによって生じた股関節唇損傷の診断には関節造影検査併用のMRI検査(MR-arthrography)が最も優れており、損傷した関節唇がハッキリと見えることによって患者様は自分の痛みの原因について納得がいき、医者はそれによって自信を持って手術に望めます。また、股関節鏡手術は最小侵襲手術の一つであり、傷も小さく社会復帰も早くなります。

股関節唇損傷は10歳代のスポーツ少年少女から、60歳以上にわたり、さまざま年代で発症します。中には関節症に進行しやすいものもありますので、もし股関節痛が続いて困っている患者様がおられましたら、ぜひ一度御相談ください。



病院トピックス

災害医療訓練を実施

3月26日、医師や看護師、技師、枚方市赤十字奉仕団婦人部など約130人が参加して、災害医療訓練を行いました。

市内で震度6強を観測、負傷者多数という想定。それぞれに負傷程度が設定された模擬患者が本院に到着。病院前テントでの1次トリアージでは、医師らが歩行困難か、呼吸はどうかなどをチェック。4色で緊急度や重症度を示すトリアージタグを使って優先順位を振り分けました。

緊急治療群である赤色と準緊急治療群の黄色は院内の2次トリアージに誘導・搬送。脈拍や血圧、意識レベルをチェックし、応急処置、入院受け入れ、災害拠点病院への搬送などを実地訓練しました。



訓練終了後、各部門、ゾーンごとの意見発表。講評では、情報伝達の方法や各部門の役割分担の明確化などの課題が指摘されました。

本院は、枚方市地域防災計画において「災害医療センター」と位置づけられており、災害の状況に応じて被災地域の内外を問わず、救命医療を最優先とする迅速かつ適切な医療救護活動を担う使命があります。

今回の災害医療訓練から、指揮と連携、安全、情報管理、評価、トリアージ、治療、搬送の一連の流れの検証、課題の抽出、分析を行い、災害対応マニュアルの見直しに結びつけるとともに、職員の危機管理意識と対応能力の向上を図っていきます。



第2回市民公開講座を開催しました

乳腺外科部長 高橋優子医師が講演



◀講演をする高橋医師
(乳腺外科)

3月19日(土)午後2時から市立ひらかた病院2階講堂で「第2回市民公開講座」を開催しました。

「乳がんセミナー」と題した今回の講座には、「広報ひらかた」や院内掲示を見られた約60人の市民が参加されました。

講師の高橋優子医師は、150枚に及ぶ資料を



駆使しながら、わかり易く市民の皆さんに乳がんの予防から、発見、治療についておよそ1時間講演を行いました。

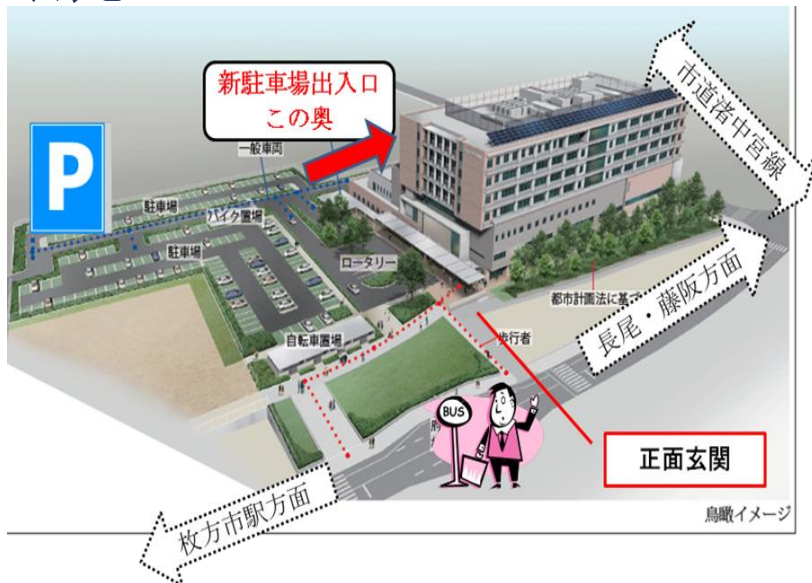
参加された市民の方々は医師の講演を熱心に聞き入れ、講演後も数名の方が相談されていました。

駐車場の整備状況

平成28年7月末の完成をめざして、新病院駐車場とロータリー部分の建設工事を進めています。

完成後は、新駐車場とロータリーを24時間365日運用開始する予定です。これに合わせて、出入口は市道渚中宮線に面する病院の北東部分となります。

また、新駐車場の運用開始に伴いまして、市立ひらかた病院の仮設駐車場と臨時駐車場は平成28年7月末をもって閉鎖し、タクシーによる臨時駐車場までの無料送迎も終了いたします。



駐車場整備工事は、平成28年8月から同年12月下旬にかけて自転車駐輪場、芝生広場、植栽工事などを行います。

車で来院される患者様、周辺にお住いの皆様や周辺道路をご通行の皆様には、駐車場整備工事に伴い、大変ご迷惑をおかけしますが、引き続き、ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

新任医師の紹介

4月1日～

内科 中西 吉彦 (なかにし よしひこ)
 松田 翔悟 (まつだ しょうご)
 野村 悠文 (のむら ひさふみ)
 上嶋 一也 (うえしま かずや)
 小児科 野村 昇平 (のむら しょうへい)

小児科 松田 卓也 (まつだ たくや)
 外科 松田 純奈 (まつだ じゅんな)
 整形外科 大原 英嗣 (おおはら ひでつぐ)
 若間 仁司 (わかま ひとし)
 口腔外科 岩井 華奈 (いわい かな)
 皮膚科 宗元 紗和 (むねもと さわ)
 形成外科 木野 絃美 (きの ひろみ)

第3回市民公開講座を開催します

7月30日(土) 午後2時～
 市立ひらかた病院2階 講堂

講演「肝臓がんセミナー」

副院長 内科主任部長 本合 泰

参加費は無料です



肝臓は「沈黙の臓器」といわれ、病状が進行してからしか自覚症状が見られない事が多いという特徴があります。

本合副院長は市立ひらかた病院で消化器内科、特に肝炎・肝硬変・肝臓がんなどの肝臓疾患を専門にしています。

編集後記

新病院になって1年半が経過しました。今号は冬から春にかけてのイベントを中心にお伝えしています。大阪府のがん診療拠点病院にも指定されました。がん患者の方のサポート体制も充実し、市民の皆様から、一層、信頼

される病院となるよう努めます。今年の冬は気候の変動が大きく体調を崩された方もおられたかと思えます。厳しい夏に向けて、気候の穏やかな季節を満喫し、健やかに過ごしましょう。今後ともよろしくお願いいたします。